

歯削る機器7割使い回し

感染研調査 滅菌せず 院内感染懸念

歯を削る医療機器を滅菌せず使い回している歯科医療機関が約7割に上る可能性のあることが、国立感染症研究所などの研究班の調査でわかった。患者がウイルスや細菌に感染する恐れがあり、研究班は患者ごとに清潔な機器と交換するよう呼びかけている。

調査対象は、歯を削るドリルを取り付けた柄の部分。歯には直接触れないが、治療の際には口に入れるため、唾液や血液が付着しやすい。標準的な院内感染対策を示した日本歯科医学会の指針は、使用後は高温で滅菌した機器と交換するよう定めている。

調査は、特定の県の歯科医療機関3152施設に対して実施した。2014年1月までに891施設(28%)から回答を得た。

滅菌した機器に交換しているか聞いたところ、「患者ごとに必ず交換」との回答は34%だった。一方、「交換していない」は17%、「時

治療の際、血液や唾液に
触れやすい



●使い回しがわかった
歯を削る医療機器

々交換」は14%、「感染症にかかっている患者の場合には交換」は35%で、計66%で適切に交換しておらず、指針を逸脱していた。

別の県でも同じ調査を07〜13年に4回行い、使い回しは平均71%だった。研究班の東福英信・国立感染症研究所室長によると、多くの歯科では、人手や費用がかかり、簡単な消毒

や洗浄をしたただで繰り返し使っているとみられる。厚生労働省によると、歯科での院内感染は原因の特定が難しく、国内で明らかになった例はない。

感染症に詳しい浜松医療センターの矢野邦夫副院長は、「簡単な消毒では、機器を介して患者に感染する恐れのあるウイルスもある。十分な院内感染対策を取ってほしい」と話している。

新装も、スマホも。読売プレミアム。二ユーエスや特約が満載。yomiuri.jp

編集手帳

すべてをお見通しの神様が将棋を指す結果はどうなるか。て評論家の小林秀吉郎にそんな質問をかけている◆例えば「先年のような結論は出るだろうか。それでは勝負自体が無意味。こう中谷は結論づけ和30年代、未来の電子唱